

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所理念を職員間で共有するため掲示し、実施している。入職時には理念の説明を行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の神服社例大祭の神輿担ぎ、休憩場所として施設敷地提供、地区合同防災訓練等に参加している。地域交流室では介護予防マスターサロンやのもてきん体操に利用者も参加されている。小学校の町めぐり体験授業で児童との交流ができた。	楽しかった。小さい子が参加していて年の差もあるが子どもを見る機会が減ってしまっているのですごく良かったと思います。集団登校の子どもの姿を見るのが楽しみにもなっている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回開催し、イベント・行事への参加の様子を投影して見ていただいている。会議では事業所内で起こった事故の報告や課題や取り組みなどを話し合い、現状を知っていただくよう掛けている。また参加していただいている方から意見をいただきサービスの向上に努めている。	面会について制限をかけているが、イベント時や年末年始には未成年者含め人数制限なく面会をさせてもらっている。小さい子どもにも会えるのでとても良いと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告に加え、事故発生時の報告や困ったこと、わからない事・苦情があった時など、様々な事例の相談を行い常に連携をとるようにしている。	問題が発生した時は直ぐ家族へ連絡があり、対策や代替案の提案があった		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束廃止マニュアルを作成し職員に周知し一年に1回見直しもやっている。毎年身体拘束廃止についての研修を実施している。また、不適切ケアをしないようカンファレンスを行い、代替えのケアを検討している。身体拘束に当たる行為は開設以降行っていない。□ □		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	問題が発生した時は直ぐ家族へ連絡があり、対策や代替案の提案があった
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年2回以上倫理・虐待防止研修を実施している。また、2ヶ月ごとに身体拘束・虐待防止委員会を開催し不適切ケアをしないようカンファレンスを行い、代替えのケアを検討している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	不適切なケアがない様に、面会時にその都度様子の報告がある。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	勉強会を開催しているほか、いつでもオンラインで学べる体制を取っている。個々の必要性を関係者とリーフレットなどを用い話し合っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の際、契約書や重要事項説明書について説明を行い、質問に対しては丁寧に返答を行っている。見学時に利用料金の説明を行っているが、契約時にも再度、利用料金について説明を行い、同意を得ている。料金等改定時には、事前に説明、同意を得ている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の面会時には日頃の様子をこまめに報告し要望・意見を聞くよう努めている。又、グループホームの満足度調査を実施し、ご利用者、ご家族の要望など結果を職員・外部者へ報告の機会を設け(運営推進会議)、それらを運営に反映させている。□	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に運営委員会が開催され家族の意見を確認している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年3回、役職による職員個人面談を実施している。その他、必要時にも実施している。また、ミーティングや事業所の会議にて意見交換の場を設けている。行事やレクリエーション活動計画策定時には、職員からの提案を可能な限り実現を図っている。□		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	処遇改善加算制度の活用、毎年目標管理に基づき人事評価を行い、給与や賞与に反映させている。また、面談の中で職員の思いや状況を理解し対策を講じている。職員も利用者と一緒に楽しめるイベントの開催、有給取得を推奨している。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員皆で協力して働いているので、人事評価はすべきではないと思う。給与の為。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	技術水準や知識の向上のために介護職員ラダーを用い、研修計画を立てている。内部研修参加の他に外部研修へは法人規定に基づき、職員が公平に参加の機会があるように調整し支援している。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族も参加できる研修はないのでしょうか。いろいろ知りたい内容もあるのではないのでしょうか。普段の職員の仕事ぶりから、代表者が職員を大切にしている事がよくわかる。それが入居している方々の接し方に結びついていると思います。職員の環境も良くなってほしい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が法人療養科長会への陪席参加や感染認定看護師主催の感染情報交換会等に参加し、情報共有の機会を作っている。法人介護職員キャリアラダーでの集合研修や外部研修等の参加の機会を作っている。高槻市介護事業者協議会での情報交換や地域の在宅プロジェクト開催の研修等で講師協力を行った。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は常に共同生活者の視点を持ち、本人に寄り添えるように、一人ひとりの表情や様子を観察し、状況に応じて洗濯たみや食器洗いなどを職員と入居者だけでなく入居者同士でも実施できるよう仲介している。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	早期に予約制での直接面会の導入した。5種類移行後は、グループホーム高槻あいわ・ケアハウス高槻あいわ合同での夏祭りや運動会を開催し、家族も参加できるイベントを開催した。毎月開催の高槻あいわ喫茶では、おやつを食べながら歌で演奏を楽しんだ。また、図書館への外出を楽しんでおられる。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ほぼできているという評価だが、面会方法に制限がかかったままである。夏祭りでは未成年者含め参加できたので制限なく面会したいが、地域の感染状況も踏まえ今後も継続して検討して欲しい。
II その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前の聞き取り情報に加え、常に本人の気持ちを大切に、日頃の会話からその時の心境を汲み取れるように努めている。また、ユニット会議にてそれらを職員に伝え、記録し実践に繋げている。外出等にも柔軟に対応している。		

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子カルテを活用し、利用者にとって良いケアを提供できるようにチームで検討し、全職員で情報の共有を行っている。利用者・家族の意向を踏まえ計画書を作成している。全職員が情報の共有を行っている。	電子カルテを活用して質問に対して答えてくれる。必要な事はその都度報告があるので家族も対応しやすい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子カルテを活用して質問に対して答えてくれる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子カルテを活用し、全職員で情報の共有を行っている。事故発生時等には、事故時の状況を職員で再現し、事故報告書に写真を添え、視覚的にも事故の状況を共有し対策を検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子カルテを活用して質問に対して答えてくれる。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の面会時に日頃の様子を伝えると共に、より良いケアを提案しご家族の協力を得ながら柔軟に対応している。また、それらを記録に残し、職員間で情報共有している。	入居した時は一人で排泄が無理でしたが、今は一人でしているので感激と感謝です。食欲が落ちている等、報告があった時、口腔ケア(舌ブラシ)活用の提案を得て改善された。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花見や紅葉狩り、地域散歩、外出支援。地域交流室にて介護予防マイスターサロンへの参加。	イベントの写真も拝見し、いい取り組みをされていると感じた。認知症の方にはいい刺激になっていると思います。今後も継続していただきたいです。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前には協力病院を受診し、入居後も継続的に週1回の訪問診療と緊急時に医師との連携体制が取れている。入居前からのかかりつけ医師や歯科医師を継続希望にも柔軟に対応している。また、専門医療機関への受診などの支援を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院している病院の地域連携室に定期的に連絡を取り、入居者の状態確認を行っている。利用者・家族同意の元、情報の提供を相互に行っている。法人高槻地区事業所間の情報交換会等に参加し医療機関とも連携している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年1月に入院して遠方において電話だけの対応だったが、頻繁に連絡いただいで安心できた。必要時には受診を促してくれる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の説明を実施している。病状等に変化があれば家族・主治医・訪問看護師・施設職員が密に連携をとり、IC、ACPやカンファレンスを設け、情報共有できるよう配慮し方向性を決定している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人生会議で話し合った事を共有し、協力を得ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	有資格者職員による救命救急講習を4月に実施した。又、年に2回安全管理研修を実施している。職員向けの急変時対応マニュアル、事故発生時のマニュアルを整備し、急変時には訪問診療医へ連絡し指示をもらい対応している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCPの整備と昼夜の異なる時間帯での消防訓練を年に2回実施している。水害に対しては避難確保訓練を年1回実施している。避難ルートの施設内掲示や地域の防災会議や合同訓練などへ参加し連携を築いている。	最近、異常気象が多発しているが定期的に訓練を行ってくれるのは心強い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最近、異常気象が多発しているが定期的に訓練を行ってくれるのは心強い。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員より、利用者に対する関わり方に違いがあり、倫理についての学習会や認知症の学習会を通して教育の場を設けている。一人ひとりの生活に合わせた声かけに努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	常に笑顔で対応してくれるのはとても気持ちが良い。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自身のペースを持っている方に対してはそのペースを尊重し、自身でペースを作れない方に対しては職員でその方に適しているであろうペース作りを行い、状況に合わせて見直しを行い支援に繋げている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食前に口腔体操を実施し、食事の盛り付けは各フロアで行い、食後の食器洗いなどは入居者に役割を持って実施してもらっている。お寿司イベントやステーキ&天ぷら等食事を楽しんでもらえるよう食事を楽しんでもらっている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	イベントの食事はいつもとは違い楽しい様子が伺えた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	老健管理栄養士や言語聴覚士と相談・連携を行い、食事状態や食事形態の評価を行っている。又、ご家族の協力によりお菓子などの嗜好品を持ってきてもらっている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、ご利用者の状態に合わせてアイテムを選定し、職員と一緒に口腔ケアを実施している。必要時には歯科往診の調整や歯科医師に指導を仰ぎケアに反映させている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食欲が落ちている等、報告があった時、口腔ケア(舌ブラシ)活用の提案を得て改善された。口腔ケアをもらっていることで歯の状態が悪化していないと思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々のADLや尿量に応じて、過剰におむつやパッドを使用しないよう心掛けている。トイレ誘導に関してもご自分から尿意を伝えられない場合、適宜トイレの声掛けを行ったり、ご本人の様子から尿意をキャッチしてトイレ誘導を行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居した時は一人で排泄が無理でしたが、今は一人でしているので感激と感謝です。その人に合った対応。その時の状態に合わせた介護が行えている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	週に2回以上マンツーマンで個浴で入浴いただいている。体調不良やご本人の気分に応じて入浴時間、入浴日を変更する等、臨機応変な対応を行っている。天気の良い日は、屋外の足湯に入りながら、歓談する機会を設けているリラクゼーション環境を提供している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	朝の起床時間や、夜の就寝時間は決めておらず、個々のペースに合わせて援助を行っている。自身でリズムが作れない方に対しては個別にペース作りを行っている。馴染みの物品を置いたり、ベッド位置を変更したり、安心して過ごせる部屋環境を整えている。		

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は薬の目的や副作用の理解を深めるよう努めている。処方箋は必要時に直ぐに確認できるようファイルしている。看護師を配置し、処方されている睡眠薬、抗不安薬や下剤等で、心身の状態を見て、不要であれば医師の指示の元、看護師が抜薬する等臨機応変に対応している。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	飲み忘れなく服用できているので状態の安定に繋がっている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人の生活歴や嗜好を確認し、計算ドリルや塗り絵、話や家事(掃除や食事の後片付け等)、散歩が好きな方等、個々の得意な事や好きな事を中心に援助し、気分転換等を図っている。書道クラブへの参加支援や誕生日には飾り付けやプレゼントを行いお祝している。	レクリエーション参加時の写真はいつも笑顔、楽しそうに参加している。様子が確認出来て家族としても嬉しい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望に沿っての随時の散歩や花見や紅葉狩りや初詣など季節を感じられるような外出を行っている。又、毎週水曜日に敷地内にある足湯に入ってもらっている。	季節ごとのイベント開催があり、楽しそうな様子で写真に映っている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	金銭管理が難しいため、個人でお金は所有していない。□ □			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が希望されればいつでもご家族へ電話が出来るようにしている。携帯電話やタブレットを持参されている方もおられ、適宜充電を行い、好きな時に電話をされている。手紙に関しては希望があれば書くようにしているが、現在希望は聞かれていない。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節毎の装飾を一緒に作り、室内でも季節を感じられるようにしている。インターネットを活用し、童謡や時代劇、歌謡曲や体操等入居者が好まれるものを提供し、職員も一緒に楽しい時間を共有している。室温は季節に合わせた適温を心掛けている。また、生活音以外でのノイズなどは出来るだけ出さないようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員介入の下、なごやかなムードで過ごせていると思う。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	意思表示が出来る方に関しては、意向に沿った暮らしができる様支援している。意思表示が出来ない方に関しては、表情などから本人の意思を汲み取って提供している。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時のアセスメントにより、ケアプランを作成し、職員間で共有している。日々の様子などから、必要に応じてテーブル座席位置の変更を行い、人間関係が良好になるよう配慮している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師を配置し、介護職と協力・連携し、利用者の健康維持に努めている。又、毎週1回の訪問診療と必要時に診察を受けられる体制を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護と介護が協力している事で異変時の早期発見できている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	読者や将棋などの趣味活動やこれまでの生活習慣を聞き取り施設内でも継続し行う事ができるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には使用していた物などを持参していただき、ご本人が安心できる環境作りに努めている。希望があれば面会時に家族に依頼するなど、都度、対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な事はその都度報告があるので家族も対応しやすい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの5類移行後は外出、外泊の制限は行っていない。家族と近隣の図書館や散歩をされる方もおられる。花火大会や例大祭での神輿かつぎの和太鼓を叩くなど屋外でも楽しんでいる。	高槻あいわ喫茶の際、ご本人が「高校三年生が聞きたい」とリクエストがあり、リクエストに応える「高校三年生が良かった」という感想をもらったとリクエストをしたご家族から「本人、自ら高校三年生のリクエストした」ことが嬉しいと言っていた。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物は個々の能力に応じてタオルや靴下、衣類など変え、出来る範囲で行っている。例えば調理訓練ではみんなが作業できるよう工程を工夫して実施している。毎月の書道クラブに参加され書道に親しまれている。作品は施設玄関に展示し、見ていただいている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、レクリエーションや体操を行い、利用者同士、職員と交流が持てるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーション参加時の写真はいつも笑顔、楽しそうに参加している。様子が確認出来て家族としても嬉しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分から進んで交流することは難しいが、行事を通して地域の方やボランティアとの交流をしている。	行事参加に積極性がないため迷惑をかけているのではと思う。大勢の中にいるのが苦手なので、自分がいるフロアにてゆっくり過ごさせてもらった。夏祭りでは小さい子どももいたので、子どもをみる機会が減っている中ではすごくよかったと感じています。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士顔なじみの関係が築けており、日々安心して過ごされている。しかし不安症状が強く落ち着かれない時がある。職員は今まで以上に認知症ケアについての知識を深め利用者が安心してよりよい生活ができるよう努めていく。	他利用者とも声掛け等があり、家族の安心感に繋がっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他利用者とも声掛け等があり、家族の安心感に繋がっている。